

札幌市小学校 スキー学習の環境改善

将来のスノースポーツ増加を目指して！

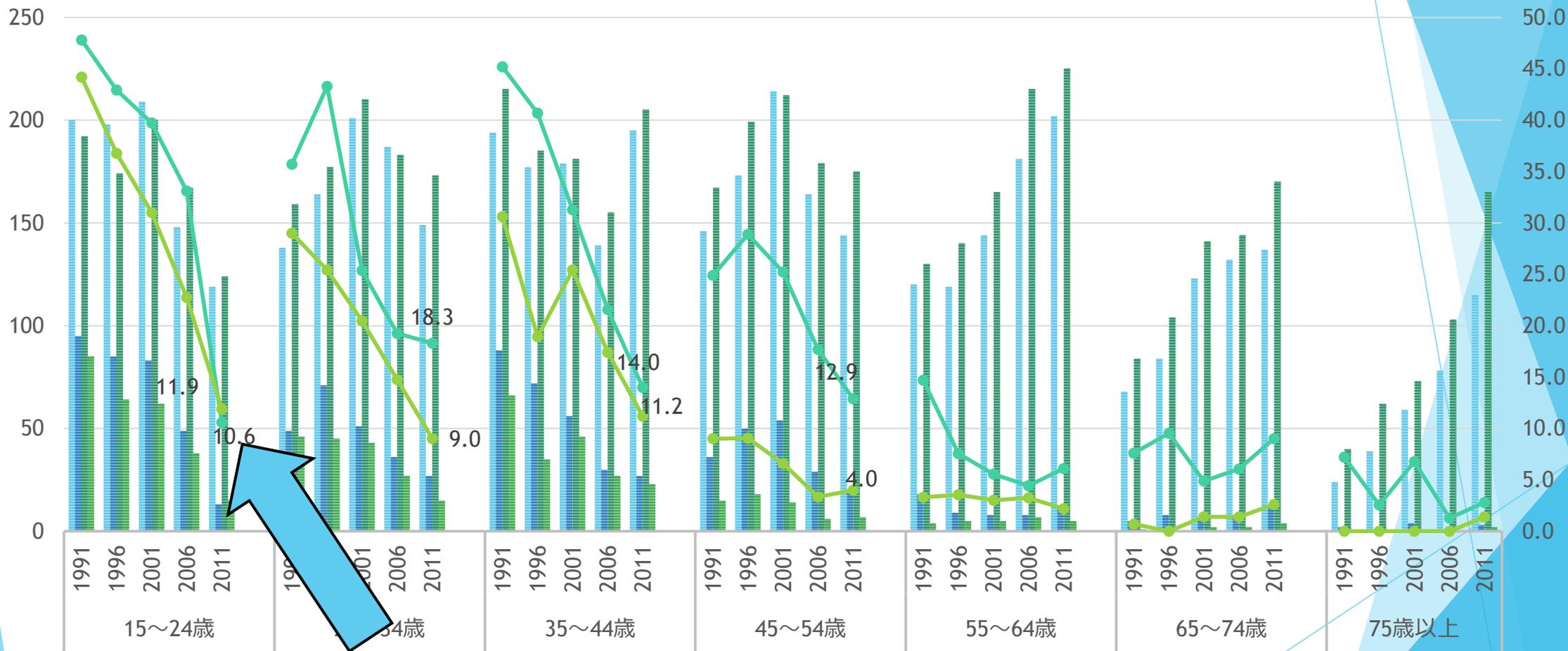
松本 雄也 ・ 江口 剛 ・ 林 未来 ・ 田村 風桂

目次

1. 緒言
2. 研究目的
3. 研究方法
4. スキー学習の調査結果
5. 政策提言
6. 今後の展望

1. 緒言

札幌市のスノースポーツ人口の動向 性別・年代別

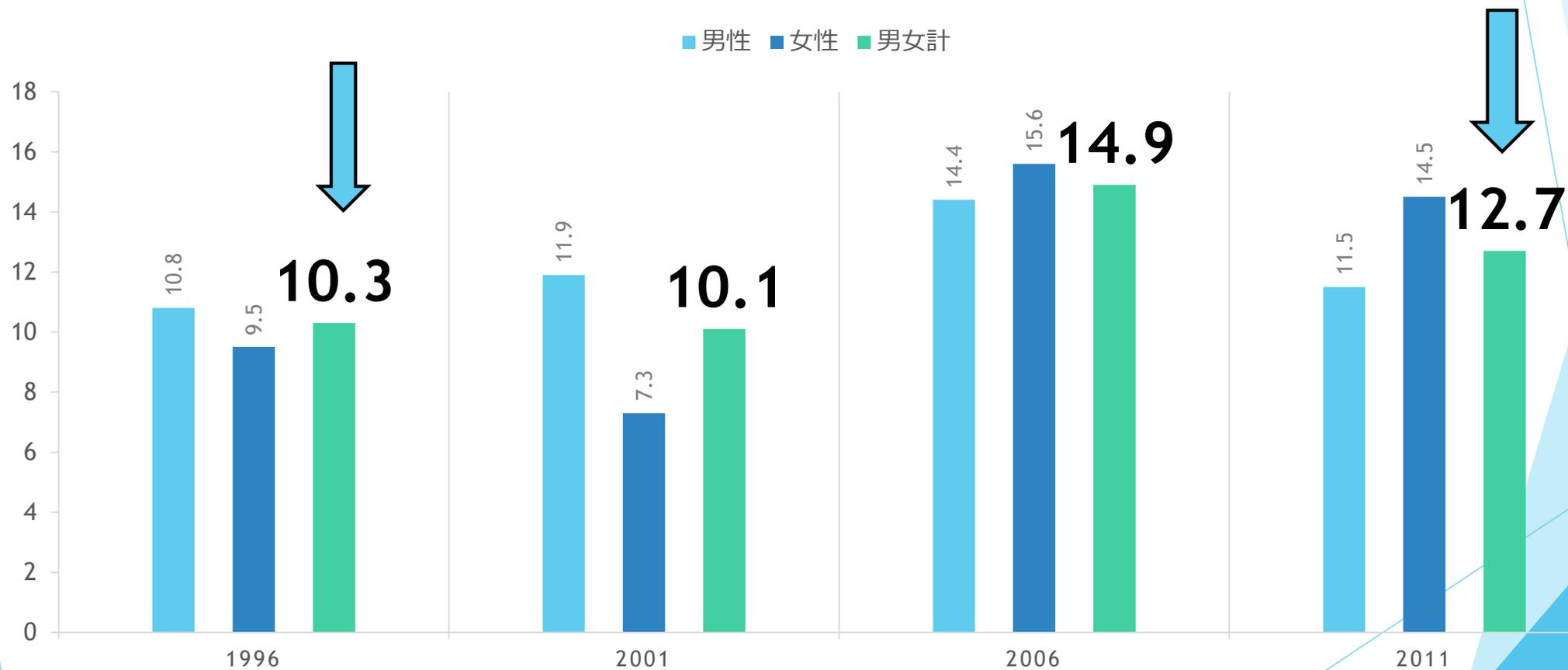


■ 男性 15歳以上人口【千人】
 ■ 男性 スノースポーツ人口【千人】
 ■ 女性 15歳以上人口【千人】
■ 女性 スノースポーツ人口【千人】
 ● 男性 スノースポーツ行動者率【%】
 ● 女性 スノースポーツ行動者率【%】

† Source: *Survey on Time Use and Leisure Activities*

札幌市のスノースポーツ人口の動向

平均年間活動数



† Source: *Survey on Time Use and Leisure Activities*

**人口減少しているのになぜ
実施回数は増えているのか？**

**コアにスノースポーツをしている人が
大半を占めており
それ以外の人がスノースポーツ離れをしてき
ているからである**

このままでは・・・

雪の環境に恵ま

ウィン

文化としての
スノースポーツが
失われてしまいます！

そこで・・・

小学校スキー学習
環境改善

ない

に！

楽

2.研究目的

札幌市小学校スキー学習のアンケート インタビュー調査

スキー学習が将来のスノースポーツに繋がっているのかを明らかにし

札幌市小学校スキー学習の環境改善

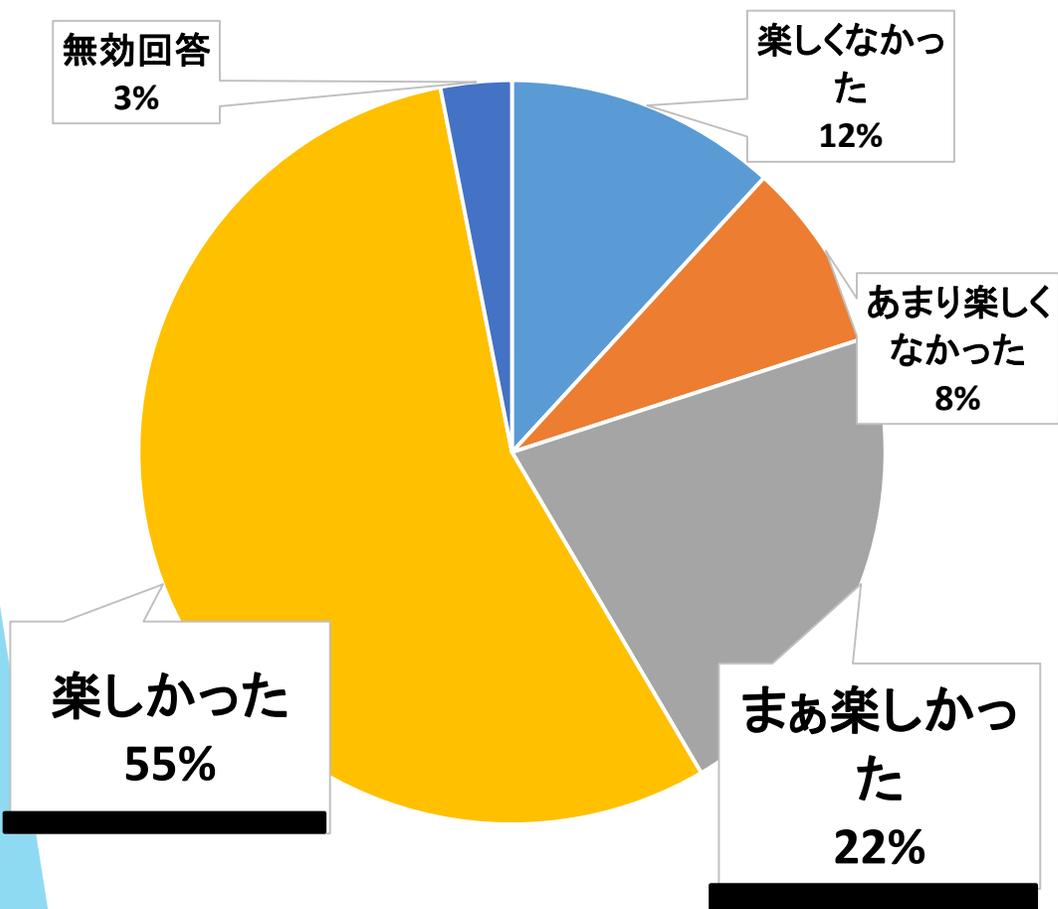
3. 研究方法

- ▶ (1) 札幌市におけるスノースポーツ離れの動向についての文献やアンケート調査
- ▶ (2) 札幌市内小学校のスキー学習に関する問題点を現場にいる教員へインタビュー調査
- ▶ (3) 海外やその他の降雪地域におけるスキー学習プログラムに関する情報の収集

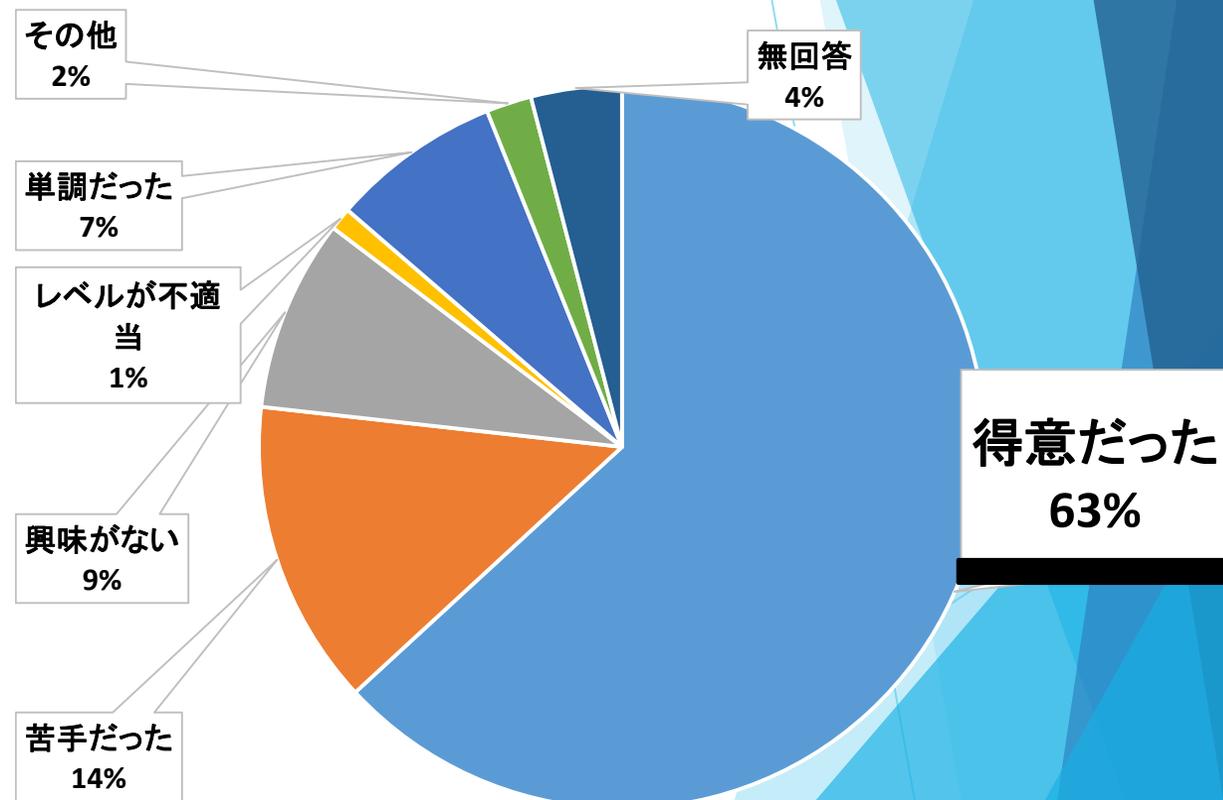
4. スキー学習の調査結果

スキー学習アンケート調査結果

スキー学習に対する感想調査

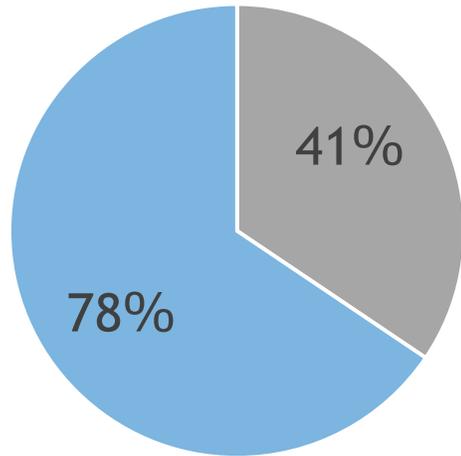


スキー学習に対する感想の理由調査



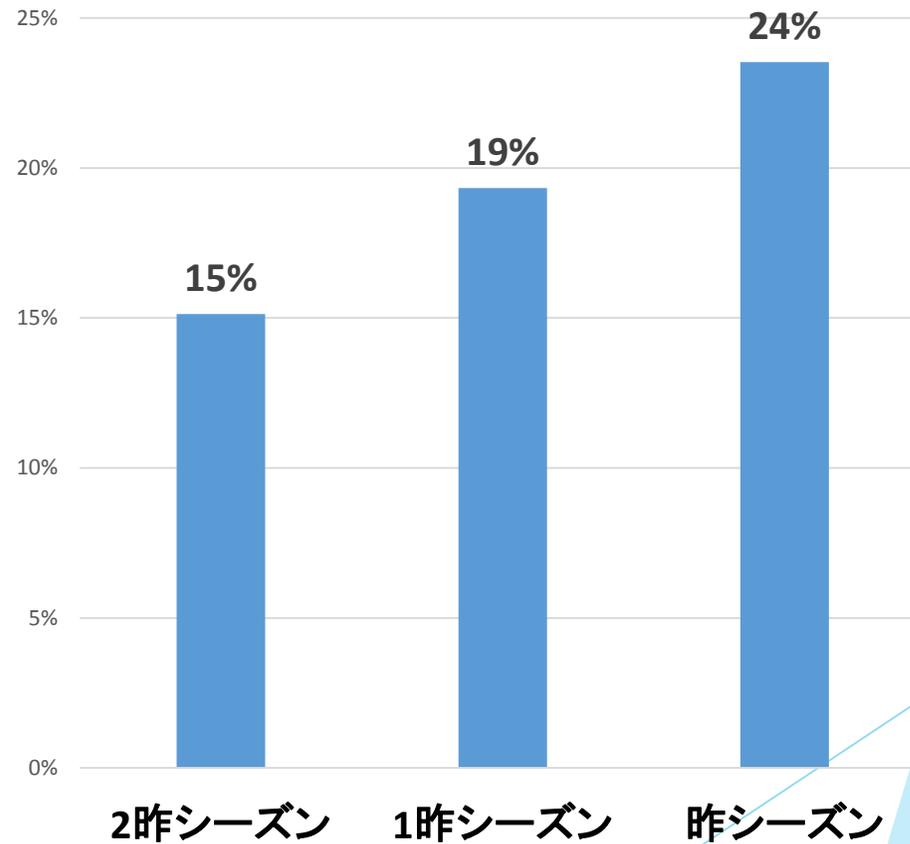
個人でのスノースポーツ現状調査

現在、個人でスノースポーツをしている人数



■ している ■ していない

シーズン別



スキー学習を行ってからの傾向

昨シーズン

	行った	行ってない	
スキー学習有り	21	62	83
スキー学習なし	6	30	36
	27	92	119

スキー学習有り

25.3%

スキー学習なし

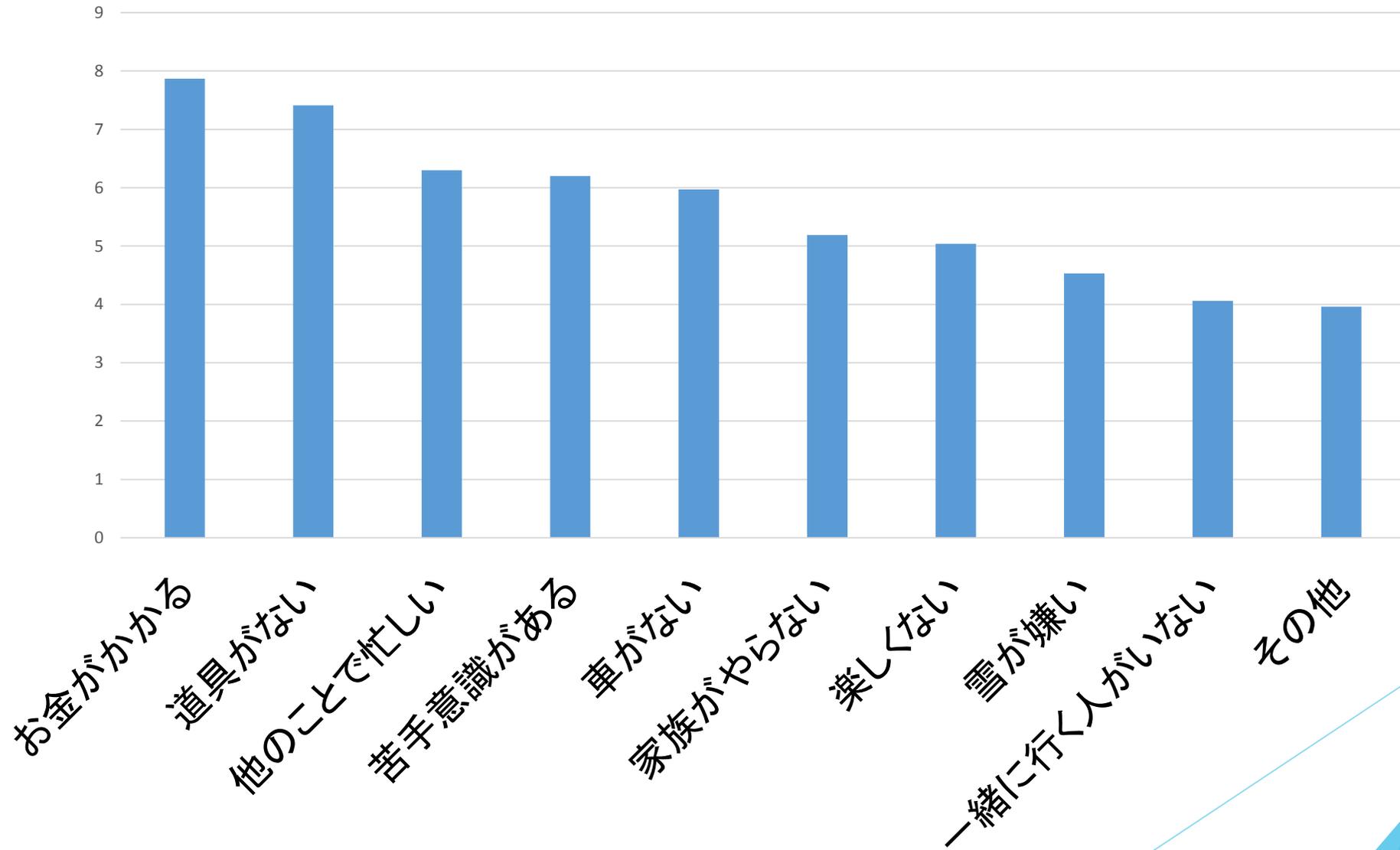
16.7%

小学校スキー学習

スキー学習の評価からの傾向

スキー学習を行い
楽しめた人は将来的
にスノースポーツを
している傾向にある

スノースポーツをしていない人の理由



スノースポーツは手間と時間がかかかってしまうと知られてる

費用・道具・交通網の実際の現状

- ▶ 交通網は発達しており、無料バスも多数あるため、約30分もあればスキー場に行ける。
- ▶ 道具はレンタルで約1500円～3000円でスノースポーツ用具が全て借りられる。
- ▶ 雪マジの活動で、若者はリフト券が無料などのリフト券の費用がかからないような活動を行っている。

小学校教員へのインタビュー調査

バスの手配

指導者の不足

バスの手配問題

- ▶ **冬場の観光客増加により、バスの台数が足りなくなる**
- ▶ **各学校で手配をしているためにスムーズにバスの手配ができない**

指導者不足の問題

- ▶ **スノースポーツ離れをしている人が多いため、スキー学習でのスキーを指導できる人が少なくなっている**
- ▶ **教員 1 人あたり約 30～50 人の児童生徒を教育しなくてはならないため、安全の確認が精一杯でスケジュールが上手く進行しない**

行政へのインタビュー結果

- ▶ **学校のスキー学習では、用具の貸し出しをするなど、スキー学習に対して積極的にサポートをしている**
- ▶ **スキー学習の現状は把握しており、各学校のスキー学習のデータは管理しているが、バスの台数の問題については、バス会社の問題のため、手をつけられない。**

各スキー場を利用している学級数

▶ 調査方法・・・札幌市

データの収集

**1シーズンに必要なバスの費用
1億200万円**

各家庭が負担している！

ホワイト		
グラウンド		
合計	<u>1020</u>	<u>105</u>

**ゲレンデに固執してしま
まいこのような問題が
起きてしまっている。**

5.政策提言

自由で手軽な
スキー学習

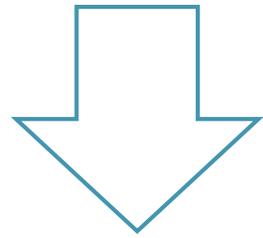
政策

政策 2

政策1

「スキーの国」のスキープログラム の振興を推奨する。

- ▶ フィンランドでは冬場の生活一部としてスノースポーツが身近で気軽に楽しまれている



歩くスキー・スキー遊び
とスキースキル

歩くスキーとは どのようなスノースポーツなのか？



スキーじゃんけん



1つ1つ、障害物を避けることで、板の操作が出来るようになる

板を履いてじゃんけんすることで全身のバランスが鍛えられる



障害物避け

的あて



上体の上下運動やブーツ内の足裏の感覚が身に付く

板を履いたまま投げることにより、遊びながらバランス能力や板になれることができる。



ゲートくぐり



ルール

タッチラグビー

ボールをゴールラインまで運んだら得点が入る。

相手チームに体にタッチされたら、ボールは相手にわたる。

安全のために、タックル・キックは禁止



ルール

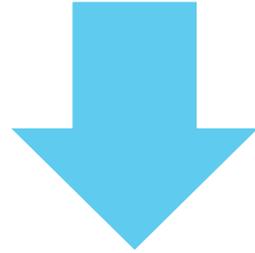
ユニホック

ホッケー型ゲームで、安全のためにプラスチックのスティックを使用し、タックルは禁止。

様々な道具・コース

遊びながらスキースキル・体力の向上

グラウンド・公園でのスキー学習を取り入れていく。



必要なバスの台数は減る
指導できない教員も簡単にサポートが可能

具体的にどのくらい、削減されるのか

現在、グラウンド・公園でのスキー学習は1～2年生が主流



▶ 統一して、1～4年生までグラウンド・公園でのスキー学習を導入



1日に105台必要だったバスが！⇒約52台

費用がどのくらい削減されるか（1日の費用）

1学級 約30名

25台

バ

各家庭の負担額が減る

約10500

政策2

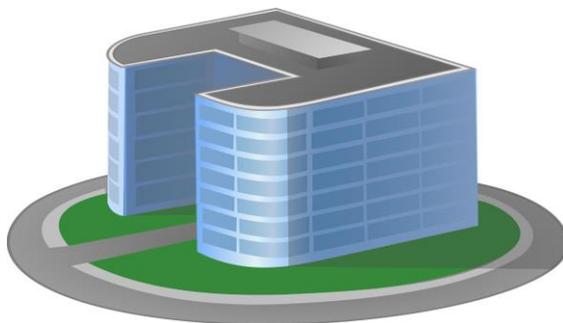
**教育委員会に担当職員を新たに
配置し一括管理する**



円滑にバスの手配ができる

**バスの削減された
費用、約525万から
管理者を雇用**

手配



バス会社

6. 今後の展望

小学校教員の研修会を増やす
保護者にボランティアをしてもらう

中学校・高校スキーマ学習 環境改善

環境の改善に繋がったか調査

10年～20年後には・・・

**生活の一部として、多く
の人にスノースポーツを
してもらいたい**

参考・引用文献

速水修(2007) スキー遊びとスキースキル <
<http://s-ir.sap.hokkyodai.ac.jp/>>

札幌市教育研究推進事業小学校保健体育研究スキー
専門(2013年) スキー学習の手引き

ご静聴
ありがとうございました